

を問う

予算審査を付託し、3月12日から18日ま

令和7年度
予算概要は、
広報ひろかわで！



住民サービス向上を

- Q 窓口の質やレベルが上がっていないが、接遇研修はできたのか。
- A 内部できちんと指導できるようになることが第一と考える。研修実施と接遇マナーの向上に取り組んでいく。
- Q 職員数の確保は進んでいるか。早期の採用試験実施の検討ができないか。
- A 目標の職員数に達していない。積極的な情報発信を行いつつ、早期の採用試験を実施したい。

地域振興策は

- Q 地域振興策はどのように行っていくのか。
- A 上広川校区を中心に進めてきたが、効果を高めるため、町内全域に広げ、具体策を検討していく。
- Q 行政区運営については町長が最前線で行っていくべきではないか。
- A 区の役員報酬について、統一指定の配分割合や業務内容を検討し実施していく。山間部については特に調査を進めていく。



求められる空き家対策

地元施工終了後、どうなるか

- Q 地元施工廃止について詳細説明を。
- A 提出書類や写真管理が簡略化でき、工事経費の削減メリットがあったが、現在は、町発注工事と金額がさほど変わらない。でき上がった工作物は、最終的に町管理となるが、品質が確保されていない案件も増加しているため終了した。今後の事業採択については、十分配慮し取り組んでいく。地元施工制度については全面廃止でなく、材料費（100%補助）のみの事業として継続する。

商・工・農の更なる振興を

- Q プレミアム商品券販売で、DX化と高齢者対応のバランスを考慮して欲しい。
- A キャッシュレスを進める一方、高齢者など、紙の商品券のみ応募される方への配慮も行う。
- Q 新規就農者の状況は。
- A 町の単独支援費用も少なく、今後の検討が必要と考える。施設園芸での就農者と空きハウスのタイミングが合わないことで、新規就農者は減ってきている。



令和6年度の商品券